

氏名： ○○ ○○  
 職種： 教授  
 所属(科・講座等)： ○○講座

水色塗り：年度目標 各人が記入  
 緑色塗り：自己評価 各人が記入  
 黄色塗り：部局長等が記入  
 灰色塗り：評価委員会等が記入

## 1. 教育 領域

教育に関する目標		教育領域の“重み”配分			0.2	
1. 学部教育及び大学院教育において講義・実習を可能な限り担当する 2. 授業の目的、内容を分かりやすく示した資料を作成し、学生による活用を高める 3. 学習要項に到達目標、評価方法・基準を明記し、厳格な成績評価を行う 4. チューター等による、学生指導・支援を積極的に行う 5. 大学院生の受入に努める						
自己点検評価	重み a	実績評価点 合計	領域段階評価 b	重み加算実績 評点 a×b	目標達成率% c	重み加算達成点 a×c
	0.2	206.2		a×b	90	18
実績に対する自己評価				目標の達成状況に対する自己評価		
講義の内容は少しずつ洗練されてきている。学生の評価が高くないので、興味を持たせるような内容を取り入れていきたい。				さらに講義内容を興味を引くように変えていく必要がある。大学院生の教育は研究が進みある程度満足している。		
グループ長評価	実績評価コメント				目標達成評価コメント	
会評価委員	重み A	実績評価点 合計	領域段階評価 b	重み加算実績 評点 a×b	目標達成率% C	重み加算達成点 a×c
	0.2	206.2		a×b	90	18

## 2. 研究 領域

研究に関する目標		研究領域の“重み”配分			0.2	
1. 講座等グループの研究を総括し、研究活動を高める 2. 大学院生等の論文作成指導の量的、質的水準を高める 3. 国際学会、全国レベルの学会等で共同演者として発表 4. 研究代表者として科学研究費補助金等の公募に応募する						
自己点検評価	重み a	実績評価点 合計	領域段階評価 b	重み加算実績 評点 a×b	目標達成率% c	重み加算達成点 a×c
	0.2	42.1		a×b	60	12
実績に対する自己評価				目標の達成状況に対する自己評価		
研究活動に充てる時間がほとんど取れず、活動が低下している。今年度は研究論文発表が0という結果であるが、次年度は何とかしたい。				4つの目標のうち③④の目標は達成できたが、①及び②の主要目標は十分に達成できていない。そのため目標達成率は60%とした。		
グループ長評価	実績評価コメント				目標達成評価コメント	
会評価委員	重み A	実績評価点 合計	領域段階評価 b	重み加算実績 評点 a×b	目標達成率% C	重み加算達成点 a×c
	0.2	42.1		a×b	60	12

3. 国際交流・社会貢献 領域

国際交流・社会貢献に関する目標			国際交流・社会貢献領域の“重み”配分		0.1	
1. 地域の教育機関あるいは共団体等の要請による授業、講演などに協力する 2. 共同研究の推進に努める						
自己点検評価	重み a	実績評価点 合計	領域段階評価 b	重み加算実績 評点 a×b	目標達成率%	重み加算達成点 a×c
	0.1	40.0			60	6
	実績に対する自己評価 国際交流の実績はないが、社会貢献において、県の救急隊員の解剖学教育や看護系学校の解剖見学指導を行い、コメディカルの教育支援を行っている。他大学との共同研究では、その成果を学会発表した。				目標の達成状況に対する自己評価 2つの目標の両方とも達成しているが、国際交流の実績がないので、目標達成率60%とした。	
グループ 長評価	実績評価コメント			目標達成評価コメント		
会 評 価 委 員	重み A	実績評価点 合計	領域段階評価 b	重み加算実績 評点 a×b	目標達成率%	重み加算達成点 a×c
	0.1	40.0			60	6

4. 組織運営 領域

組織運営に関する目標			組織運営の“重み”配分		0.2	
医学部、病院の委員会、WGに積極的に出席して組織の改善を図る						
自己点検評価	重み a	実績評価点 合計	領域段階評価 b	重み加算実績 評点 a×b	目標達成率%	重み加算達成点 a×c
	0.2	42.0			90	18
	実績に対する自己評価 大学および医学部組織運営においては、求められる貢献は遂行できた				目標の達成状況に対する自己評価 学部・全学委員会ではそれなりの貢献はできたものとする	
グループ 長評価	実績評価コメント			目標達成評価コメント		
会 評 価 委 員	重み A	実績評価点 合計	領域段階評価 b	重み加算実績 評点 a×b	目標達成率%	重み加算達成点 a×c
	0.2	42.0			90	18

5. 診療 領域

診療に関する目標				診療の“重み”配分		0.3	
1. 地域の中核となる特定機能病院として良質の医療を提供する 2. 治験を積極的に進め、新薬の開発に寄与する 3. 診療を通して良い医療人を育てる 4. 医療経営に配慮した診療を行う 5. 保健医療や社会資源を考慮した医療を行う 6. 病棟稼働率を85%以上に保つ							
自己点検評価	重み a	実績評価点 合計	領域段階評価 b	重み加算実績 評点 a×b	目標達成率%	重み加算達成点 a×c	
	0.3	47.0			100	30	
	実績に対する自己評価 病棟稼働率も徐々に上がり、外来数も伸びている。				目標の達成状況に対する自己評価 病床稼働率はほぼ目標に達している		
グループ長評価	実績評価コメント				目標達成評価コメント		
会員評価委	重み A	実績評価点 合計	領域段階評価 b	重み加算実績 評点 a×b	目標達成率%	重み加算達成点 a×c	
	0.3	47.0			100	30	

6. 前年度のグループ長評価を受けて改善した事項及び重点的に取り組んだ事項など

必要があれば記入
----------

領域評価 集計

評価領域	重み A	実績評価点	領域段階評価 B	重み加算実績 A×B	目標達成率 C	重み加算達成 A×C
教育	0.2	206.2			90	18
研究	0.2	42.1			60	12
国際交流・社会貢献	0.1	40.0			60	6
組織運営	0.2	42.0			90	18
診療	0.3	47.0			100	30
合計	1	377.3				84

総合評価 結果

総合評価	総合評価点	実績評価点範囲	該当	達成努力評価点範囲	該当
特に優れている	5	4.0~		90~	
優れている	3	3.5~3.9		80~89	
おおむね良好	3	3.0~3.4		60~79	
改善の余地がある	2	2.5~2.9		50~59	
改善を要する	1	~2.4		~49	

総合評価 コメント

必要があれば、グループ長が記入
-----------------

評価委員会 コメント

--